

Stage4

The Play Park

プレーパーク

作・ジャン・バーチェット／サラ・ヴォグラ―

絵・ジョン・スチュアート

<読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・このお話に出てくるのはだれですか。
- ・このお話にでてくるひとたちの話を、まえにも読んだことがありますか。
- ・お話にでてくるひとたちについて、どんなことを知っていますか。
- ・プレーパークとはどんなものだと思いますか。これまでにいったことはありますか。

<読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

<ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

called さげんだ

trampoline トランポリン

walked 歩いた

another もうひとつの

bridge 橋

[p. 1]

プレーパーク

作・ジャン・バーチェット、サラ・フォーグラ―

絵・ジョン・スチュアート

[p. 2]

お話にでてくるひと

マックス

タイガー

[p. 3]

マックスとタイガーはボタンを押して……

[p. 4]

ふたりはマイクロ・プレーパークを作りました。

[p. 5]

タイガーはいちばんに試したいと思いました。

[p. 6]

タイガーは階段をのぼりました。それからロープのつり橋を歩きました。

[p. 7]

タイガーは最後の塔まで、えんぴつの橋を歩きました。

[p. 8]

「たすけて！」

えんぴつが折れました！

「たすけて、マックス！」、タイガーはさけびました。

「どうにもできないよ！」

[p. 9]

「しっかりつかまってる！」

「しっかりつかまてる！」、マックスは言いました。

「ぼくがたすけるよ！」

[p. 10]

マックスは、タイガーのところまでスポンジを引きずって行きました。

[p. 11]

「スポンジのトランポリンとびおりろ！」、マックスが言いました。

タイガーはジャンプして……

<ビヨーン！>

[p. 12-13]

「すごかったあ！」、タイガーが言いました。

「もう一回やるぞ。こいよ、マックス！」

[p. 15]

「たのしいぞ！」、タイガーがわらいました。

「キャットとアントもよぼう」

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・プレーパークのどの部分が気に入った？ どれで遊んでみたい？
- ・この話でおもしろかったところはどこ。
- ・この本を読んでどう思った？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

自分たちのマイクロ・プレーパークをお子さんと一緒に作れますか？

空のペットボトルやキッチンペーパー、空のヨーグルトの容器が使えますね。